



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)6月15日号 No.1894

目次

■ 新たな政治改革が始まったカザフスタン 中馬 瑞貴 1	
一 国民投票で憲法改正案承認一	
■ 統計速報 10	
2022年1～5月のロシアのブランド別乗用車販売台数／10	
2022年1～4月の日ロ貿易(修正版)／11	
■ キーパーソン 14	
ロシア非常事態大臣が正式に就任／14	
■ エトセトラ 14	
ROTOBO月例報告会「昨今の情勢を踏まえたロシアでの人事と労務」／14	
■ トピックス 15	
日本政府がロシアとベラルーシ3行を資産凍結／15	
ロシア外務省が四島水域の操業停止警告／15	
DMG森精機がロシアで270人解雇／15	
アフバスが車両生産再開／15	
ロシアの化石燃料収入が増加の可能性／16	
ロシアヘトラックなどの67品目の輸出禁止／16	
JICAが平和構築債を発行／16	
日立建機がロシアへの輸出停止／17	

新たな政治改革が始まったカザフスタン 一 国民投票で憲法改正案承認一

ロシアNIS経済研究所 研究員
中馬 瑞貴

はじめに

2022年1月に前代未聞の大規模な騒乱が発生した中央アジアのカザフスタン。噴出した国民の不満を解消すべくトカエフ大統領は国家の刷新に向けて、政治・経済・社会と広範にわたる抜本的な改革に着手している。その一環として2022年3月に行われた年次教書演説で、①大統領と議会の権限分割の変更を主軸とする中央の政治制度改革、②地方自治と地域構造の改革、③マスコミやNGOの活動に関する改革から成る抜本的な政治改革が発表された。その実現に向けて憲法改正が必要とされ、さらに、トカエフ大統領は国民投票を実施して憲法改正について国民の是非を問うことも明らかにした。カザフスタンの憲法はこれまで何度も修正が加えられているが、1995年8月の制定以来、国民投票にかけられるのは今回が初めてのことであった。6月5日に行われた国民投票では賛成77.18%で改正案が承認された。本稿では、本格的な政治改革のスタートとなったカザフスタンの憲法改正について解説する。